

令和元年度 第2回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会 要点記録【確定稿】

- 開催日時：令和元年7月9日（火）18時30分～20時05分
- 開催場所：田無総合福祉センター4階 第3会議室
- 出席委員：長田範子、小野修平、佐々木敏幸、田邊洋、谷口陽香、戸田亘、阿壽子、
山本弓彦、渡邊浩文 <以上9名、敬称略、五十音順>
- 出席役職員：佐藤文俊、妻屋良男、飯塚和幸、嶋田孝雄、長山清美

- 資料 1：西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告（令和元年5～6月）
資料 2：コーディネート状況等月次報告（令和元年5～6月）
資料 3：ボランティアコーディネート実績表（令和元年5～6月）
資料 4：ボラフェス2019事業実施報告書
資料 5：ボラフェス2019参加者アンケート集計結果
資料 6：ボラフェス2019参加団体アンケート集計結果
資料 7：西東京ボランティア・市民活動センター予定表（令和元年7～8月）
資料 8：令和元年度第1回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録
【未定稿】案
資料 9：災害ボランティア養成講習会 事業実施企画書
資料10：令和元年度区市町村ボランティア・市民活動センター運営委員およびセンター長等
合同会議開催告知
- 資料別紙：西東京ボランティア・市民活動センターアクションプラン
『気球くんプラン』（概要版）
資料別冊：西東京ボランティア・市民活動センターアクションプラン
『気球くんプラン』（本紙）
資料別冊：平成30年度第6回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録
（確定稿）
当日配布資料：『気球くんプラン』を進めていくための提案資料

- ・運営委員会開催前に佐々木委員に対して委嘱状を交付し、自己紹介を行う。

1. 報 告 事 項

- (1). 業務報告（令和元年5月・6月）について（資料1～3）
- ・事務局より業務報告を行う。
 - ・委員より特に質問はなし。
- (2). ボラフェス2019の実施報告について（資料4～6）
- ・事務局より業務報告を行う。
 - ・参加人数は昨年が280名に対して今年は171名であった。市内の小中学校で土曜授業があったこと、中学校で運動会があったことも影響している。

(3). 業務予定(令和元年7月・8月)について(資料7)

- ・ 事務局より業務予定を報告する。
- ・ 予定表にある買い物支援ボランティアについては、市内の高校生による企画で小野委員にも協力をいただき取り組んでいるもの。
- ・ 既に今週末に夏体験ボランティアとは別に、独自に1回取り組みを行った。

2. 審 議 事 項

(1). 令和元年度第1回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録(未定稿)について(資料8)

- ・ 内容を確認し、修正点等については、今週末までに事務局に連絡をいただくこととなる。

3. 協 議 事 項

(1). 災害ボランティア養成講習会の実施について(資料9)

- ・ 今回は、講座を平日に開催することで、平日に活動できる人を増やしたい意図がある。
- ・ 昨年の募集期間より今年は短くないか。
- ・ 例年より2~3日短い。
- ・ 目的の中に「社会的弱者」という記載があるが、ほかの表現に変えたほうが良い。
- ・ 修正する。
- ・ 講座の内容について、参加した本人が災害ボランティアに参加するために、まずは、生活再建ができるようになるような内容を含める予定だ。
- ・ 市の総合防災訓練は10月20日ではないか。
- ・ 事務局としては、10月13日で調整されていると聞いている。

(2). 西東京ボランティア・市民活動センターアクションプラン『気球くんプラン』について

(資料別紙・資料別冊・当日配布資料)

- ・ 事務局より気球くんプランの進行管理の協議について、9. ボラフェス、5. 災害ボランティア養成講習会、それと4. 8. 14. をまとめて行う方法を提案する。

◎ 9. ボラフェスについて意見交換

- ・ 当日参加者が少ないが、開催場所を変えるまでに踏み切れない。参加している活動団体として、団体に加入してもらうことだけが目的ではないが、写真を見せるだけでは魅力に欠ける。ボラフェスの参加団体とはコミュニケーションを取ることはできているが、一般参加者の方までには至っていない。
- ・ 昨年は、傾聴ボランティアの体験、講座、グループへの加入につながるよう働きかけた。このような流れが良いと思う。
- ・ ボラフェスは、他のイベントと連動性を持って考える必要がある。企画段階で小中学校の行事はわかっていなかったのか。何年かかけて根本的に考え直すことも方法の1つ。
- ・ 今年、傾聴の取り組みに来ていただけたのは、知り合いだけだった。部屋の中での取り組みの為、入り口をわかりやすく表示してもらいたい。食べ物があると人が集まるのではないか。
- ・ 集客のための楽しめるものを考えることも必要である。その一方で、ボランティアをやりたい人にこの取組が伝わっているのだろうか。

- ・ 集客のために出店を充実させる必要がある。
 - ・ ボラフェスの参加者が持ち帰ることができるチラシセットを用意した方が良い。
- ◎ 5. 災害ボランティア養成講習会について意見交換
- ・ 今回企画した内容は、課題として取り上げられている「平日活動できる人を養成する」点に取り組み予定だ。
 - ・ 災害時のボランティア活動が自分にできるのか？という不安に対して、ハードルを下げ、間口を広げて知ってもらうという視点で考えることも大切ではないか。
 - ・ 要配慮者にもできることはある。どのような災害でどのような困りごとが生じるのか、という視点で考えてみてはどうか。
 - ・ 防災教育と組み合わせて災害ボランティアセンターを紹介することを念頭に実施したら効果的ではないか。
 - ・ その中から災害ボランティアとして動ける人が多く集まるかは疑問に思う。
 - ・ 間口を広げた啓発の中から人材を見出してみてもどうか。
 - ・ 「災害ボランティア＝万能の人」ではない。一部のことでしかできなくても大丈夫。
 - ・ 「災害ボランティア」という名称がハードルを上げてしまっていないか。

◎今後の検討の仕方について

- ・ 今日とは2項目についてしか意見交換できていない。今後のことを考えると、専門委員会を設置して、各委員会で検討を行いつつ、運営委員会で話し合う方法をとっても良いだろうか。
- ・ 3つの専門委員会を想定してみたが、総務専門委員会は設置しないこととする。
- ・ 講座・講習会専門委員会に、長田、小野、山本委員が所属する。
- ・ ボランティア支援事業専門委員会に、谷口、阿委員が所属する。
- ・ どちらに所属しても良いと意思表示をしている佐々木、田邊、戸田、渡邊委員は、別途2つの委員会に振り分ける。
- ・ 各専門委員会の開催については後日通知することとなる。8月中旬に1度は開催したい。

4. そ の 他

(1). 次回運営委員会開催日程について

- 日時：令和元年9月10日（火） 18時30分～20時00分
- 会場：田無総合福祉センター 4階 第3会議室

(2). そ の 他

- 区市町村ボランティア・市民活動センター運営委員およびセンター長等合同会議について(資料10)
 - ・ 東京ボランティア市民活動センターより通知が届いたら、各委員にあらためてお伝えさせていただくことを伝える。

- 以上をもって令和元年度第2回運営委員会の審議、協議を終了し、閉会した。